

## 葛飾区新庁舎庁内基本プラン（中間報告）区民から寄せられた意見のまとめ

### 1 区内各施設における閲覧

#### (1) 閲覧期間

平成31年3月22日（金）～令和元年5月7日（火）

#### (2) 閲覧物

- ① 葛飾区新庁舎庁内基本プラン（中間報告）
- ② 葛飾区新庁舎庁内基本プラン（中間報告）概要版

#### (3) 閲覧場所

区政情報コーナー（区役所3階304番）、総合庁舎整備担当課（区役所6階604番）、区民事務所・区民サービスコーナー、図書館、健康プラザかつしか、男女平等推進センター、立石駅周辺地区街づくり事務所

### 2 その他関連団体への個別説明

#### (1) 説明内容

- ① 葛飾区新庁舎庁内基本プラン（中間報告）について
- ② 立石駅周辺地区の街づくりについて

#### (2) 個別説明を実施した団体

行政連絡協議会、各地区町会長会議、合同民生委員児童委員協議会、東京商工会議所葛飾支部、葛飾区医師会、葛飾区歯科医師会、葛飾区薬剤師会、青少年育成地区委員会会長連絡協議会、葛飾区手をつなぐ親の会、葛飾区肢体不自由児者父母の会、立石駅北口地区市街地再開発準備組合、立石駅南口東地区市街地再開発準備組合、立石駅南口西地区市街地再開発準備組合等

### 3 寄せられた意見

- |                      |       |
|----------------------|-------|
| (1) 新庁舎の内部レイアウトについて  | 14件   |
| (2) 総合庁舎の移転計画について    | 43件   |
| (3) 立石駅周辺地区の街づくりについて | 31件   |
| (4) その他              | 1件    |
|                      | 合計89件 |

### 4 寄せられた意見と区の考え方

次ページ以降に記載のとおり

※ 同様の趣旨の意見については、意見の概要の後ろに「（同様の意見が他に〇件）」と表記しています。

寄せられた意見の概要と区の考え方

【取扱い凡例】◎基本プランへ反映する、○既に区の計画に入っている、△今後の計画の参考にする、□意見・要望としてお聞きする

No.	項目	意見の概要	取扱い	区の考え方
1	新庁舎の内部レイアウトについて	来庁者の利便性を第一に考えるのであれば、1階から庁舎とした方が良いと思うがどうか。	□	駅前のにぎわいを創出するため、1、2階に商業・公益施設を整備する計画としています。本区と同様に、3階から窓口を配置している豊島区の整備事例も参考にしながら、来庁者にとってわかりやすく便利な窓口となるよう検討を進めてまいります。
2		来庁者の最も多い戸籍住民課が便利になるようにすべきである。	○	新庁舎では、庁舎入口の3階に戸籍住民課を配置し、ライフイベントに伴う手続きをワンストップで行うなどのサービスを検討しています。今後も、窓口サービスの検討を進めてまいります。
3		都税事務所も一緒に移転するのか。区役所と都税事務所の両方の用事を済ませることができ、とても便利なので、今と同じようにしていただきたい。	△	新庁舎では、さらに便利なサービスを提供することをめざして検討を進めています。都税事務所に対しては、一緒に移転する方向で働きかけをしてまいります。
4		江東区は目立つところに障害者団体の物販コーナーがあるが、新庁舎ではぜひそうしてほしい。	○	新庁舎では、庁舎入口の3階に障害者団体の喫茶・物販コーナーを設置する予定です。
5		区役所は、高齢者や障害者など、歩行が困難な方の来庁が多いと思われるので、庁舎内はもちろんのこと、駅やバス・タクシー乗り場から庁舎までの動線上のバリアフリーを考慮してほしい。また、入口付近の車寄せや、駅から直結する通路があると良い。	□	新庁舎では、誰にでも公平でわかりやすく、安全、快適に利用できるユニバーサルデザインによる整備を目指しています。各交通機関から庁舎までの動線も、同様に計画しています。
6		庁舎全体を葛飾区をPRする広告塔として利用してはどうか。葛飾区を代表するキャラクターやかつしかカルタなどのディスプレイ、伝統産業館の製品、ポスターなどを庁舎内外に設置し、区民の方には共有の財産としての認識を高め、区外の方には葛飾区の魅力を発信してもらいたい。葛飾区で発行している切手やはがき、カルタなどをロビーの目立つところで販売するのも良いと思う。	△	魅力ある新庁舎となるよう検討を進めてまいります。

7	新庁舎の内部レイアウトについて	安全対策として、防犯カメラを多く設置してほしい。犯罪の抑止、事件事故発生時の早期解決のために、必要不可欠と思われる。	△	区庁舎は、区民の方の個人情報など、重要な情報を保有する施設であり、セキュリティ対策をしっかりと検討してまいります。
8		お悔みコーナーが死亡時の必要手続きということであれば、死亡時だけではなく、「火事の時」「出産の時」「引っ越しの時」「人工透析になった時」など、複数の課を回るような内容の場合、わかりやすい書面を用意し、目立つラックに入れて、窓口まで行かなくても一目瞭然で理解できるようにしたり、近くの案内係が補足案内できればよいのではないだろうか。その際、書面は出来るだけ大きな字を使用してほしい（年配の人にはA4書面では字が小さくて、読みづらいことが多い）。	△	来庁される方に、便利でわかりやすく、スピーディーなサービスを提供できるよう検討を進めてまいります。
9		外国の方の来庁も多く見込まれるので、庁舎内の案内表示の外国語の併記するのはもちろんだが、それ以外に目的ごとに色別にして、床にも同色の動線を敷設し、線をたどれば課に着けるようにしてはどうか。品川の東京入国管理局で採用し、効果的だと思うので、参考にしてはどうか。 (同様の意見が他に1件)	△	サイン計画の参考にします。
10		区民が誇れるものにしてほしい。子どもが区議会場などを見学できるようにして、区に関心を持ってもらえるような開かれた区役所にしてほしい。	△	開かれた区役所となるよう検討を進めてまいります。
11		ZEB READY（国が定める省エネ基準より、一次エネルギーの消費量を50%以上削減）ではなく、省エネ効果の高い技術を導入しながら、設計バリエーションの多様化も図ることのできる「ZEB Oriented（同40%以上削減）」を目標としていただきたい。	△	再開発事業の建築物の計画と連携しながら、今後も検討を進めてまいります。
12		中圧ガスを活用した発電設備として、業務継続計画（BCP）にも対応し、かつ高い省エネルギー・省CO <sub>2</sub> 効果を実現することができる自立分散電源（コージェネレーション）の導入を提案したい。	△	大規模な災害が発生したときにも、庁舎の必要な施設・設備を継続的に使用できる電源を確保するため、自立分散電源（コージェネレーション）やデュアルフェューエル対応の発電機などの設備の導入を検討してまいります。

13	新庁舎の内部レイアウトについて	新庁舎は、災害に強い庁舎を第一優先に考えてほしい。災害時の状況をリアルタイムで把握できる設備の導入を望む。都庁の防災システムなども参考になるのではないか。	△	区民の生命、身体及び財産を守る重要な拠点として、防災機能をしっかりと検討してまいります。
14	移転計画について	これからも区民に対して定期的な報告と意見聴取をしながら、検討を進めてほしい。 (同様の意見が他に7件)	□	検討の進捗状況を広く区民の皆さんに示し、ご意見をいただきながら検討を進めてまいります。また、広報かつしかや区ホームページ、SNSなどを活用しながら、情報の発信に努めてまいります。
15		区役所移転後の敷地や建物の活用方法について、方向性だけでも教えてほしい。 (同様の意見が他に2件)	□	本館・議会棟については、老朽化が進んでいるため取り壊す考えです。跡地については、学校の建替えの際に、仮校舎を建てる敷地として使用するなど、活用方法を検討していきます。一方、新館は耐用年数を迎えるまでにまだ年数があるため、取り壊さずに、使用する考えです。いずれも、区民の大切な財産であり、有効に活用するよう検討を進めます。
16		費用が高額・不透明である。床取得の価格は区民にきちんと示していく必要があると思う。 (同様の意見が他に2件)	□	建築物の基本設計完了時点での庁舎移転先の床価格は、250億円程度と見込まれています。建築物の実設計が終わり、床取得の価格が一定程度決まった段階で、第三者の鑑定をとるなど、適切な方法により適正な価格であるかを検証したうえで、あらためて区民の皆さんにお示ししてまいります。
17		庁舎移転の早期実現を望む。現在の庁舎は交通が不便でわかりにくい上、バリアフリーの面で明らかに不十分と感じる。庁舎内もスペースが狭く、移動の際、人にぶつかることもあり、事故につながらないか懸念がある。	□	現庁舎においても、できうる限りの工夫、親切なご案内などサービス向上に努めておりますが、不十分なバリアフリーなど建物の構造上の課題が多くあり、抜本的な解消は難しい状況です。新庁舎整備にあたっては、これらの課題を解消し、区民の皆さんに安心・安全で便利な庁舎となるよう検討を進めてまいります。
18		区議会棟や本館（旧館）の跡地は、公園として検討してほしい。また、清掃事務所の北側にある駐車場が廃止される場合は、売却処分ではなく、区民のために利活用していただきたい。新館は、学び交流館や立石駅前にある立石地区センターの移転先としても良いのではないだろうか。	□	庁舎移転後の区有地については、区民の大切な財産であり、有効に活用するよう、検討してまいります。

19	移転計画について	学校の改築やほかの行政サービスを優先すべきである。 (同様の意見が他に10件)	<input type="checkbox"/>	区が保有している450を超える施設の経年劣化の対応は、区政の大きな課題です。区では平成29年3月に公共施設等経営方針を策定し、小・中学校の改築・改修や子育て支援施設の更新などに計画的に取り組んでいます。総合庁舎においても、現庁舎が抱える課題を抜本的に解決するとともに、求められる機能を確保、充実させるために、建替えの準備を進めています。今後とも、区有施設全体について、計画的な取組みを進めてまいります。
20		現庁舎はまだ使えると思う。建替えるのではなく、現庁舎をいかした計画としてほしい。 (同様の意見が他に6件)	<input type="checkbox"/>	総合庁舎の建替えについては、平成22年度に設置した、学識経験者、区内各地域の代表者、公募区民等で構成される「葛飾区総合庁舎整備のあり方検討委員会」において、現庁舎の経年劣化、防災機能の不足、利用しにくい建物構造等への対応として、大規模改修では、狭あい化の解消、わかりにくさの解消、バリアフリー化等の抜本的な課題の解消が困難であり、仮に改修を行ったとしても、本館・議会棟は短期間で耐用年数を迎え、建替えが必要となり二重投資になることから、建替えることが優位性が高いと判断しました。
21		立石駅北口地区への移転に反対である。 (同様の意見が他に8件)	<input type="checkbox"/>	総合庁舎の移転先は、複数の候補地を比較し選定しました。最終的に残った3候補地（現庁舎敷地、青戸平和公園、立石駅北口地区）について、区民利用の利便性、整備コスト、工事中の区民利用の利便性などを総合的に検討し、平成26年10月に策定した「総合庁舎整備基本構想」で立石駅北口地区を最優先候補地としました。多くの区民や区職員が利用する総合庁舎が立石駅北口地区にあることで、立石駅前が人々で溢れ、安全で賑わいのある地域として活性化し、周辺住宅地の魅力が増し、さくら通りを含めた周辺の地区にも賑わいが波及していくと考えています。
22	立石街づくりについて	新庁舎の開庁時間以外も、街が賑わうようにしてほしい。	<input type="checkbox"/>	駅や店舗、交通広場などを繋ぐ、快適な歩行者空間を整備し、地区内の回遊性を高めることで、賑わいの創出に繋げてまいります。
23		駅前だけで日常生活に必要な物が賄えるようにしてほしい。	<input type="checkbox"/>	従前からあるお店の存続や新たな店舗の誘致などにより、立石の良さをいかしながら、立石のさらなる発展に向けて取り組んでまいります。
24		現在の立石の良さをいかした再開発にしてほしい。 (同様の意見が他に4件)	<input type="checkbox"/>	

25	立石街づくりについて	街づくり事業は、なかなか計画通りに進まないことが多い。必要なことだと思うので、精力的に進めてほしい。	<input type="checkbox"/>	地元権利者の方々と区の協働により、再開発事業は進んでまいりました。引き続き、安全・安心な街づくりの実現に向け、取り組んでまいります。
26		災害対策をしっかりと行ってほしい。	<input type="checkbox"/>	立石駅周辺地区の再開発では、老朽建築物の耐震化・不燃化や道路の拡幅など、災害に強い街づくりを進めます。 庁舎棟は、大規模な災害が発生したときにも継続的に使用できる建物として整備し、災害時の応急活動や復旧・復興活動の拠点として整備してまいります。
27		立石駅の改札口を東西2か所に作ってほしい。	<input type="checkbox"/>	改札口は、現在の仲見世商店街付近に1箇所設置される予定です。改札口を増やすことについては、京成電鉄に働きかけてまいります。
28		京成立石駅に急行が停まるようにしてほしい。 (同様の意見が他に2件)	<input type="checkbox"/>	優等列車が立石にも停まるように、引き続き京成電鉄に働きかけてまいります。
29		再開発後、自転車が道路に溢れないようにしてほしい。	<input type="checkbox"/>	再開発事業と連立事業が連携し、適切な駐輪場台数を確保してまいります。
30		北沼交通公園は自転車であふれ、通行の妨げになっていたが、自転車置場に線を引いたところ、線内への駐輪がすすんだという事例がある。	<input type="checkbox"/>	自転車の置き場を明確に表示することでルールが守られた事例として参考にします。
31		四つ木方面に向かうコミュニティ道路のインターロッキングは、車いすだけでなく、自転車も通りづらくなっている。新庁舎周辺の整備では考えてほしい。	<input type="checkbox"/>	インターロッキングブロックの使用や維持管理の手法などについては、しっかりと検討いたします。
32		交通網をしっかりと確保してほしい。	<input type="checkbox"/>	都市計画道路の整備方針を踏まえて、道路交通網の充実に向けて取り組んでまいります。
33		これからは車社会なので、駐車場をしっかりと整備してもらいたい。	<input type="checkbox"/>	新たな建築物に必要な台数を確保するとともに、駅前広場の地下にも公共駐車場を整備してまいります。
34		今後も、街づくりについて丁寧に説明を行ってほしい。	<input type="checkbox"/>	より良い街づくりを進めていくため、引き続き、丁寧な説明に努めてまいります。また、広報かつしかや区ホームページ、SNSなどを活用しながら、情報の発信に努めてまいります。
35	駅北口の交通広場は、バスの乗り入れができるのか。スペースが不十分に感じる。	<input type="checkbox"/>	バスが走行する軌跡を考慮し、安全性・利便性に配慮した計画としております。引き続き交通管理者などの関係機関と協議しながら、安全・快適な交通広場の整備を進めてまいります。	

36		600戸の住宅が新たにできるならば、学校や保育園の需要への対応が必要だと思う。	<input type="checkbox"/>	子育て支援部や教育委員会など、関係部署に情報提供し、対応しています。また、保育園については、準備組合が、東棟に誘致することを検討しております。
37		再開発で高い建物が建つとビル風が心配である。 (同様の意見が他に1件)	<input type="checkbox"/>	準備組合では、風対策のシミュレーションを実施しており、新築する施設建築物の形状の工夫や植栽の配置など、種々の対策を講じることとしております。今後の設計でも、さらなる検証を進めながら対応していく予定となっております。
38	立石街づくりについて	再開発により、遠方からでも人が訪れる立石の魅力がなくなってしまう事が懸念される。 (同様の意見が他に3件)	<input type="checkbox"/>	立石駅北口地区は、京成立石駅に隣接しており、商店街を中心とした賑わいのある地区ですが、狭い道路や木造の建築物等が多く、オープンスペースも不足しているなど、防災性の向上や居住環境の改善が喫緊の課題となっています。街づくりには、ご意見にあるように、地区計画を定めて個々の建物の建替えに合わせて耐震・防火性能を向上させていく事業があります。しかし、個々の建替えを待つ進めていく手法であるため、効果の発現までには相応の時間を要すること、賑わいの拠点となるオープンスペースや新たな商業空間の創出が難しいことなどが考えられます。このため、本地区では、市街地再開発事業の手法によって進めています。この事業と連携しながら推進している連続立体交差事業では、これまで駅前で営業していた店舗を近隣の代替地に移転していただくことで営業が継続できるように配慮しており、駅前の賑わいが周辺地区にも広がっていくように努めています。引き続き、周辺地区の代替地の確保に努め、連続立体交差事業によって創出される高架下空間の活用も視野に入れながら、市街地再開発事業の推進を図り、街の賑わい創出と防災性の向上を実現してまいりたいと考えております。
39		再開発ではなく、個々の建物を更新する方法でも防災面は改善でき、魅力も削がずに済むのではないか。 (同様の意見が他に3件)	<input type="checkbox"/>	
40	その他	川が氾濫したときに、どこまで水位が上がるかわかる表示を区全域にしてほしい。	<input type="checkbox"/>	中川・新中川以西は「葛飾区荒川洪水ハザードマップ」を、中川・新中川以东は「葛飾区江戸川洪水ハザードマップ」を基に、幹線道路や小・中学校付近の東京電力電柱及び公共施設等に浸水深を表示した洪水標識板を区内454箇所に設置しています。今後も、必要な対策を進めてまいります。